

## WindowsCE を活用した営業情報分析イントラネットシステムの構築について

3 M-4

平田幸一

暁楽システムウェア(株)

前川佳徳 里見洋貴

大阪産業大学 工学部 情報システム工学科

## 1. はじめに

企業の基幹情報システムは、業務効率化という位置付けから、それに加えて戦略的経営への情報処理をも行うという視点に立って、その構築が行われてきている。そこでの留意点は、種々の業務システムの統合化と、リアルタイムな情報収集・処理である。後者については、出先の営業マンの情報を、最近の通信ネットワークを活用して収集・処理することが行われている。そこで当社においても、イントラネットシステムにより、営業担当者の動きを把握し、同時に営業戦略に役立つ情報を収集・分析・可視化するシステムの開発を行った。とくに携帯端末として WindowsCE を活用することを試みている。本報告では、このシステムのコンセプトと機能を紹介するとともに、WindowsCE の評価について紹介する。

## 2. 開発システムの特長

イントラネットシステムを構築し、モバイル端末を活用して、営業マンの移動先まで社内ネットワークを拡張していくためのシステムについては、最近開発が活発になされており、パッケージシステムも多く発表されている。しかし、本開発システムは、システムをカスタマイズして販売することを目的とし、以下のような特長を持たせるようにした。(図1参照)

- (1) 営業マンが持ち運ぶモバイル端末として、WindowsCE を搭載したものを使用し、軽量・コンパクト性を図る。

- (2) 端末では、初心者でも扱いやすいように、ペン操作を中心とした情報入力方式とし、レイアウトも見やすいものにするよう工夫する。
- (3) 収集情報の分析・処理には、経営コンサルティング会社と提携して、そのノウハウを取り入れたものとする。
- (4) ブラウザを使用してシステムを開発し、プラットフォームに依存しないシステムとする。
- (5) カスタマイズ性を考慮して開発し、パッケージシステムとして販売できるようにもする。

## 3. WindowsCE とその端末の評価

携帯端末として、マイクロソフトが開発した WindowsCE を搭載したカシオペアを使用した。以下にその評価を示す。

## 3.1. WindowsCE の評価

- 画面および操作は Windows95 に似せてあり、またソフト開発に用いる CE の API は、Windows95 や NT で使われている「Win32API」の機能縮小版で、使い勝手としては便利である。
- Windows との互換性、データの連携を重視して作られているので、ネットワークの構成上有利である。
- 付属ソフトのエクセル・ワード・インターネットエクスプローラは機能の限定された「ポケット版」であるが、出先の環境で使うのには十分な機能を備えている。
- ペン入力が可能であるので、初心者向きのシステムとすることができる。
- パソコン側に、HPC エクスプローラという連携専用のソフトをインストールすると、通信ケーブルをつなぎデータの連携を行うことができるので都合がよい。

- ・ 付属ブラウザが Internet Explorer2.0 相当であるため、ActiveX、Java、JavaScript 等は使用できず、動的なページをつくれな

3.2. カシオペアの評価

- ・ 画面のサイズが480×240ドットのため、制約を受け、またモノクロ表示（4階調）である。
- ・ コンパクト・軽量で、持ち運びには便利である。
- ・ 起動、終了に時間がかからない点が良い。
- ・ 連続使用時間が10時間以上(非通信時)であるが、通信時の電池の消費は大きい。

4. おわりに

WindowsCE は、表現能力では他のモバイル端末と比べれば劣るが、基本的な性能は有しており、将

来的には改良されることも含めて、使い勝手の面では十分モバイル端末として機能できると考える。

今回は、WindowsCE の現在の機能で実際に使用できるシステムを作成したので、その制約のため変更・削除した部分がいくつかあったが、今後の機能の向上により、その点は解決されるものである。

それらを考慮して、WindowsCE を用いた本イントラネットシステムは有用なものと考えている。また、提携した経営コンサルティング会社のノウハウを利用している点は、他のシステムに対して本システムの優位点となっている。

本研究においては、太田覚君、北村秀樹君の協力を得た。

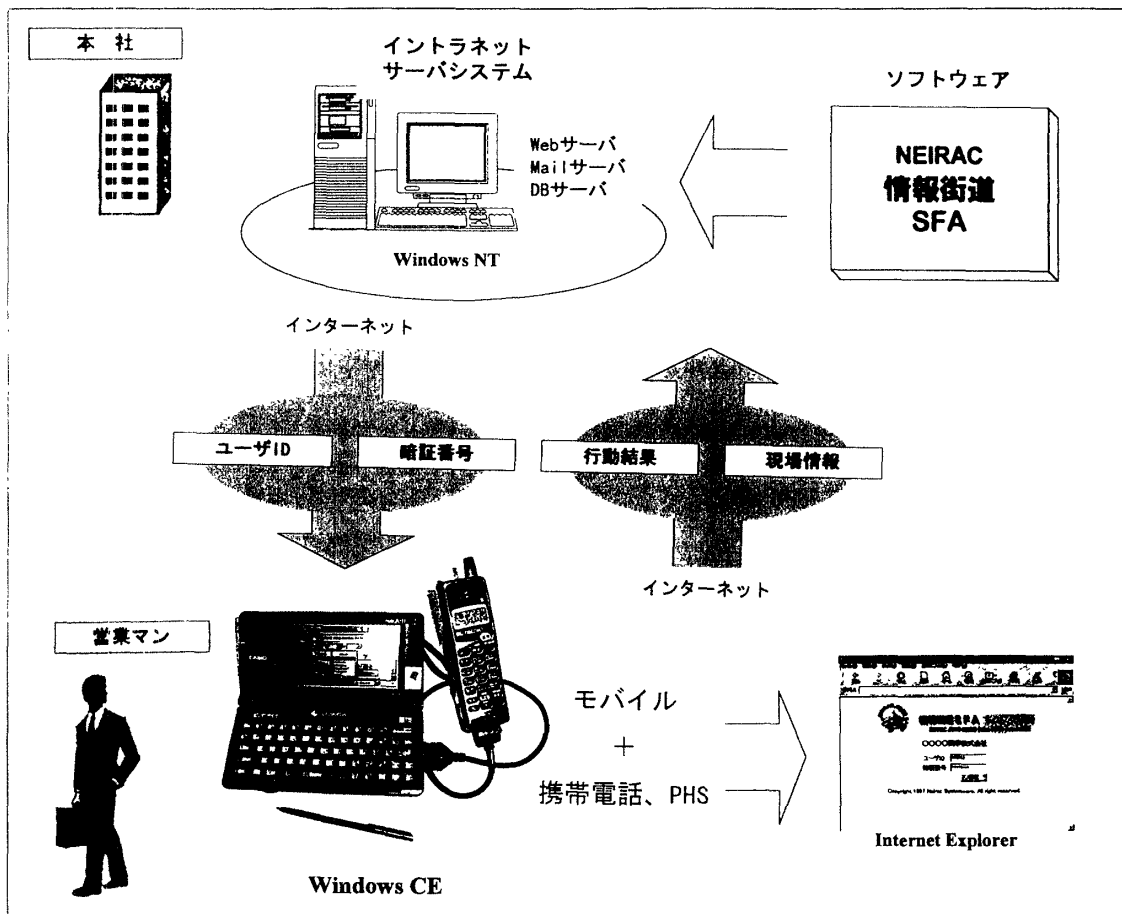


図1 システム概要